



# オレム-アンダーウッドモデルと ストレングスモデルの融合

講師 聖路加国際大学大学院看護学研究科  
研究科長 萱間真美 教授

講師 長谷川病院  
精神看護専門看護師 後藤優子先生

2018年 3月17日(土) 13:00~17:00

福岡県立大学5号館3階 5303実習室

萱間先生は、聖路加国際大学で学士号、修士号、東京大学で博士号を取得されています。大学卒業後は東京の長谷川病院で勤務され、現在もお忙しい中、聖路加国際病院で精神科訪問看護の実践を継続されています。東京都精神医学研究所の主任研究員、東京大学医学系研究科の講師、助教授を歴任され、2004年からは聖路加国際大学で教鞭をとっていらっしゃいます。2017年4月には、専門看護師資格を有し、高度実践看護のリーダーを目指す人のための博士課程 (Doctor of Nursing Practice) を日本で初めて開設され、後進の育成に一層努めていらっしゃいます。また先生は、訪問看護の実践、研究、教育を有機的に連関させながら、精神障害をもつ人への看護の質の向上のためにリーダーシップを発揮されています。そして近年は、オレム-アンダーウッドモデルにストレングスモデルを融合し、患者のリカバリーを促進する看護介入を提唱されており、今回の御講演では、普段の実践と研究から導き出された実践知に根差したお話が伺えるのではないかと思います。

後藤先生は、聖隷クリストファー大学で学士号、北里大学で修士号を取得後、長年、長谷川病院で精神看護専門看護師として精神障害をもつ人と家族に卓越した看護を提供してこられました。当大学院の精神看護専門看護師コースの実習先でもある長谷川病院は、オレム-アンダーウッドモデルを日本で初めて臨床実践に取り入れた病院であり、現在はストレングスモデルを統合した実践を臨床で展開中です。後藤先生は専門看護師の6つの機能を駆使し、その先頭に立って看護実践のモデルを示していらっしゃいます。

お二人の先生方の御講演を通して、大転換期にある日本の精神保健医療福祉の中での精神看護のあるべき方向性を一緒に考えていければと思います。

# 精神看護セミナーⅢ

福岡県立大学大学院看護学研究科





【博多方面から】

JR福北ゆたか線+後藤寺線+日田彦山線

博多駅→新飯塚駅→田川後藤寺駅→田川伊田駅  
(約1時間30分) 徒歩約15分

西鉄バス

天神から福岡県立大学直行バス 90分

①天神→八木山バイパス→飯塚バスセンター  
→新飯塚→後藤寺→福岡県立大学

②天神→筑豊自動車試験場→後藤寺→福岡県立大学

【小倉方面から】

JR日田彦山線

小倉駅→田川伊田駅 (約1時間) 徒歩約15分

西鉄バス

小倉駅→鉄砲町→南大通り 徒歩約5分

【直方、行橋方面から】

平成筑豊鉄道で田川伊田駅(約40分)徒歩約15分



駐車場の不足する可能性があるため、できるだけ公共交通機関での御来学をお願いいたします。

参加申し込み・お問い合わせ先

福岡県立大学大学院看護学研究科 准教授 松枝美智子

825-8585 福岡県田川市伊田4395番地 0947-42-2118(代表)

下記の参加申し込み票を切り取り、上記の宛先に平成30年3月3日(土)までにお申し込みください。申込書の欄が不足する場合は、コピーをしてご使用ください。

平成29年度精神看護セミナーⅢ 参加申込書

所属施設名	病棟等	お名前	連絡先メール・アドレス